

風車と音の理解促進イベント

現状・課題

- 風力発電から発生する超低周波音等について、様々な心配をする声がある。
- インターネット上などの非科学的な情報に基づく不正確な知識が喧伝されている。



- 「グローバルウインドデイin能代」に、「風車」と「音」について理解を深める体験コーナーを出展。
- 音響工学で有名な「小林理学研究所」から研究員を招聘し、様々な周波数の音を発生させる特設装置を使用した全国初の体験イベントを開催し、風車と音に関する理解を深めた。

令和元年6月16日(日)能代市
イベント来場者:約700人、コーナー体験者:76人

◆体験できる音の一覧

	騒音レベル (A特性)	音圧レベル (1/3 オクターブバンド)
1. 可聴音 (高い音 10000Hz、低い音 40Hz) ※正弦波。録音ではない。	—	約 70dB
2. 可聴音 (風車の音) ※2 MWクラスの風車から150mの距離で録音	約 50dB	60dB (20Hzでのレベル)
3. 超低周波音 (感じられる強さ) ※正弦波。録音ではない。	—	100dB (20Hzでのレベル)
4. 超低周波音 (風車からでる 20Hz の音) ※2 MWクラスの風車から150mの距離で録音	—	60dB (20Hzでのレベル)
5. 可聴音 (乗用車運転中の音) ※5人乗りミニバン(1600CC)車内で、時速50km程度の時に録音	約 60dB	90dB (20Hzでのレベル)

◆周波数と呼び方

